

馬と触れ合い、心癒やす

羽島市正木町大浦、羽島特別支援学校の第2回学校祭が、同校で開かれ、作品展示や馬とのふれあい体験など多くの保護者や住民らでにぎわった。

同校には小学部と中学部、高等部に136人が通っている。学校祭は、児童や生徒の日ごろの成果を披露しようと毎年開いている。

2日間にわたって行われ、第1日は学部や学年ごとにステージ発表があり、楽器演奏やダンスを披露。最終日は手芸品や陶器などのほか、生徒たち手製のパンやケーキを販売。絵画や木工の作品も展示した。

松波総合病院(笠松町田代)などが推進する「ホースセラピー」の一環で笠松競馬場のミニチュアホースが招かれ、生徒たちや住民が餌やりなどを通して

羽島特別支援校学校祭 生徒と住民が餌やり



癒やしの時間を過ごしていた。

(亀山大樹)

学校祭に招かれたミニチュアホースと戯れる生徒＝羽島市正木町大浦、羽島特別支援学校